



大正琴プロジェクトが「iEARN 2010 in Canada」から いよいよスタートしました。

1. スタートまでの準備

まず「5台の大正琴をカナダへどうやって持っていくか」について大変悩みました。

別送だと5台の大正琴が最低でも4万円近くかかります。<このお金があれば新品の大正琴が1台買える。。。>

カナダ会議に参加される方たちの荷物に加えてもらっては・・・人に迷惑をかけることになる。

結果、大正琴は5台から3台に減らし、スーツケースに入れて自分で持っていったので無料でした。

2. iEARN 2010 in Canada

7月11日<日> カナダ トロント空港に到着

前日の11日に成田を出発して同日カナダのトロント空港へ・・・かわいい女性が「iEARN」と書いたカードを掲げて待っててくださいました。そして、バス乗り場でも、気さくでちょっと男性的な女性スタッフの方が車の手配を下さっていました。まさか、この方たちとその後、予定外のサプライズが待っていたとは。。

サプライズとは・・・

14日は、空港で最初に会ったカナダの先生や、マイアミの先生と、トロントの町を地下鉄やバスを使って散策、そしてドライブ、夕食。・・・16日は家庭訪問。



マイアミの先生とカナダの先生



おいしい夕食でした。



会場から20分ぐらいの素敵なログハウス訪問

3. 7月12日<月>

いよいよ始まりました。

2003年の日本でのiEARN国際会議で、「日本の音楽に親しんでみませんか？」のワークショップを開催したときにできた友達。

大正琴プロジェクト 代表 廣田 元子

その後、2004年から「防災世界子ども会議 2005in ひょうご」に向けてテレビ会議や、手紙、贈り物交換をした世界の先生方。2005年「NDYS 2006 in 台湾」の学校訪問で友達になった台湾の先生方。

2007年の愛知県で開催し、その実行委員長を務めた関係で、生徒たちとも仲良しになったロシアの子どもたち。懐かしさで思わずハグ！

まだまだ一杯懐かしい顔が・・・この会議の楽しみの一つです。

同時に、新たに友達になった数多くの先生方、生徒たち。日本の参加者とも仲良くなりました。



サリマタさんは2005年からの付き合いです。



NDYS台湾会議で訪問して仲良しになりました。



NDYS2007inあいちに参加した兄妹も大人になりました。



大正琴が足りなかったのを持って行ってもらえなかったスロベニアの元気な先生たち

4. 大正琴ワークショップ

大成功！交流相手も決まりました。



カナダのユースのスタッフは、記録写真を撮りに来て大正琴に熱中してしまいました。カーネギーホールのプロデューサーは「第九」を演奏。



この二人は大正琴を持って帰りました。アメリカの、クリスとは、2003年からの付き合いです。男の先生は大学の英語と音楽の先生です。



カナダの先生のお嬢さんと息子さん。彼女も大正琴を持って帰りました。この家庭は音楽一家のようです。



プレゼンを用意していたのですが、結局それは使わず、ぶっつけになりました。亀井さんと、長田先生が得意の英語を生かして大活躍でした。私は実技指導なので、ほとんど英語が必要なかったです。